

ご報告 <金砂健児の集い> 開催報告

令和元年度 第79回 東京秋工会総会・懇親会

令和元年度第79回東京秋工会総会・懇親会は11月3日(日)アルカディア市ヶ谷(私学会館)に於いて、来賓10名会員他90名が集い盛大に開催されました。

報告講演

「地区別・金砂健児の集い」現況と今後の活動について」

12時から開始した報告講演では、昨年発足した活性化委員会を代表して、伊藤 幹夫(S46A)氏によるプレゼンテーションがあり、東京秋工会会員の減少について、現状の把握と課題について共通理解と協力をお願いしました。



伊藤氏が入会した10年前からいまでも若手といわれ続けて、今回の総会参加者のなかでも伊藤氏より卒年が下の人は4名。若い人がほとんど入会してこないことが直面している会の課題として、昨年11月に佐藤弘(S40M)氏を委員長として活性化委員会が発足した。

会員登録している1,650人の会員を8地区(東京23区、東京多摩、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木)に分け、担当者を決めて6月から「地区別金砂健児の集い」を開催した。

地区会での交流と、従来の同好会に新しく発足した2つの同好会(パソコン教室、史跡散策同好会)を加えて、東京秋工会の継続と発展につなげたい。



母校から配布されたクリアファイル。

ドローンで撮った新校舎:左は自然芝の多目的グラウンド、右は人工芝ラグビーグラウンド。その横は工場棟。奥が教室。

総会

開会の辞では、小野 鐵雄(S38C)監事から、母校のラグビーチームが昭和15年明治神宮国民大会に出場した帰路に、東京地区の同窓生が歓待した記録があることから、昭和15年を東京秋工会発足の年とした経緯の話がありました。来年は会の創立80年になります。

そして参加者全員で校歌を斉唱しました。

三平俊悦(S39A)会長挨拶

「地区会への協力をよろしくお願ひしたい。昨日終了した大成功したラグビーワールドカップの熱気が幅広く浸透することを期待したい。9月27日母校の落成記念式典に参加。アトリオンで使われたドイツのスタインウェイ製グランドピアノが母校に寄贈された。ヒストリーホールの展示が伝統の重みを伝えており素晴らしい。鎌田満雄(S27C)、伊藤昭(S36M)、地主勝己(S37C)の役員3名が亡くなられ、会として大変お世話になったことに感謝したい。来年の80周年を機会に役員交代を考えているので協力をお願いしたい。」



佐々木進幹事長より会務・会計報告、生駒茂監事より監査報告が行われ、異議無しにて承認されました。

来賓挨拶

黒澤光宏 校長

母校の近況について述べられました。



「昭和55年機械科卒。4月から母校の校長を拝命。

母校改築について：普通高校1校が25億で作られるところ、75億円の工事費を費やした6年越しの改築工事が今年終了した。木材をふんだんに使ったぬくもりのある校舎。

秋工の現状：1クラス35名構成で、機械科2クラス、電気エネルギー科、建築科、土木科、工業化学科 各1クラス、全校生徒627名のうち女子107名。

次ページに続く ⇒